

関西地区の長期大型データの減衰、収束の状況について連日のようにお知らせや逆ラジオ通信に載せていますが、まだ大地震は発生していません。しかし7月に入り本日8月2日までに以下のように瀬戸内海の伊予灘を中心に M4~M5 クラスの地震が5回ほど起きています。仮にこれが東北地方の太平洋側であればM4クラスの地震はしばしば起きていますが、この瀬戸内海の地域は普段地震が少ないのでこうした地震が続くのはめずらしいと言えます。

- 210708 安芸灘M4.5      210708 伊予灘M4.3      210717 伊予灘 M5.1  
 210731 徳島県南部M4.5    210802 島根県東部 M4.3



発生時刻	2021年7月8日 2時39分ごろ
震源地	安芸灘
最大震度	2
マグニチュード	4.0
深さ	40km



発生時刻	2021年7月8日 1時24分ごろ
震源地	伊予灘
最大震度	3
マグニチュード	4.3
深さ	50km

210708 安芸灘M4.5

210708 伊予灘M4.3



発生時刻	2021年7月17日 20時50分ごろ
震源地	伊予灘
最大震度	4
マグニチュード	5.1
深さ	80km



発生時刻	2021年7月31日 13時09分ごろ
震源地	徳島県南部
最大震度	3
マグニチュード	4.5
深さ	50km

210717 伊予灘 M5.1

210731 徳島県南部M4.5



210802 島根県東部 M4.3

その他の関西の地震>



210712 兵庫県南部 M3.0



210719 奈良県M2.9



210727 三重県南部 M4.7 (深度 350 k m)



210730 京都府南部M3.6

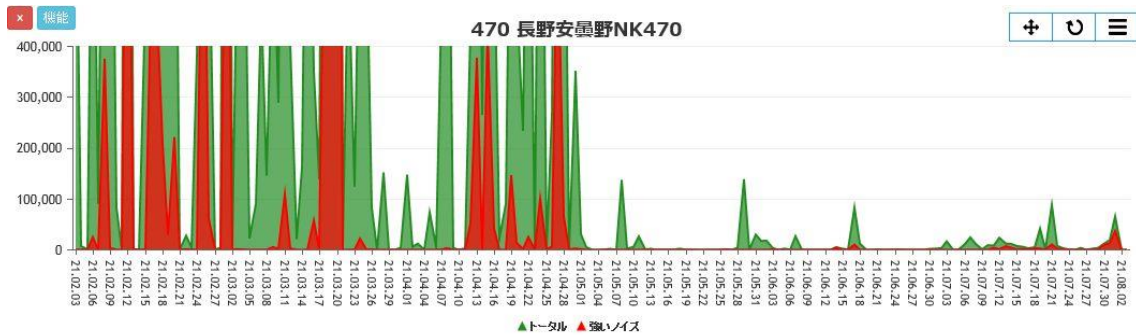


発生時刻	2021年7月31日 11時46分ごろ
震源地	滋賀県南部
最大震度	1
マグニチュード	3.1
深さ	10km

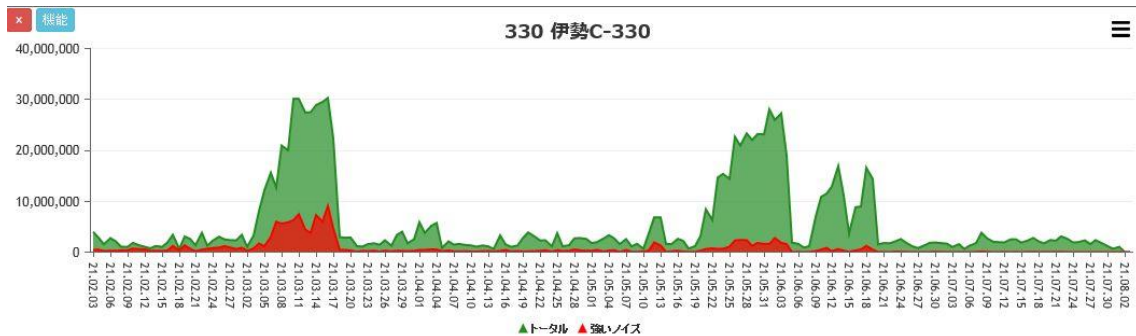
### 210731 滋賀県南部M3.1

<関西地区の長期大型データについて 各地 180 日（半年）間 日毎データ>  
 またこれに関連して本日までの関西地区の長期大型データを各地 180 日（半年）間日毎データとして以下にのせます。いずれのデータもほとんど収束して小さいデータで推移していて大きな反発一リバウンドは見られません。このまま何も発震がないままであれば関西地区の地下の何らかの大きな動きは収まってしまった、と言えるかと思えます。その意味から関西地区の大地震の可能性をいったん取り消すことを検討していきます。

### 長野 安曇野 180 日（半年）間 日毎データ

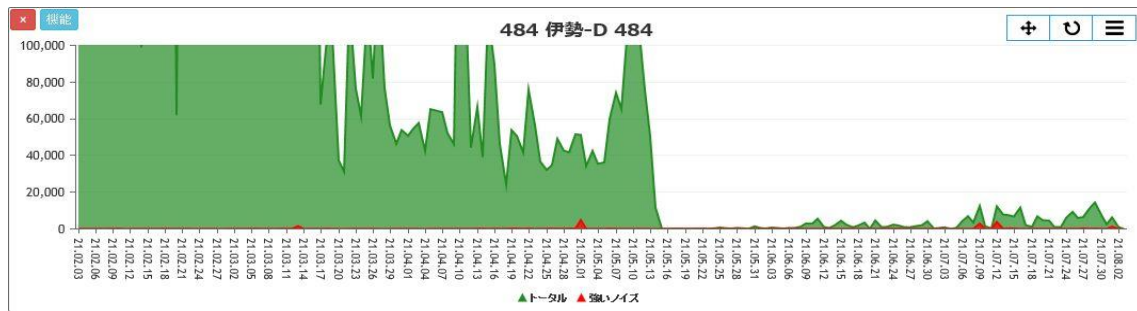


### 伊勢C330 180 日（半年）間 日毎データ

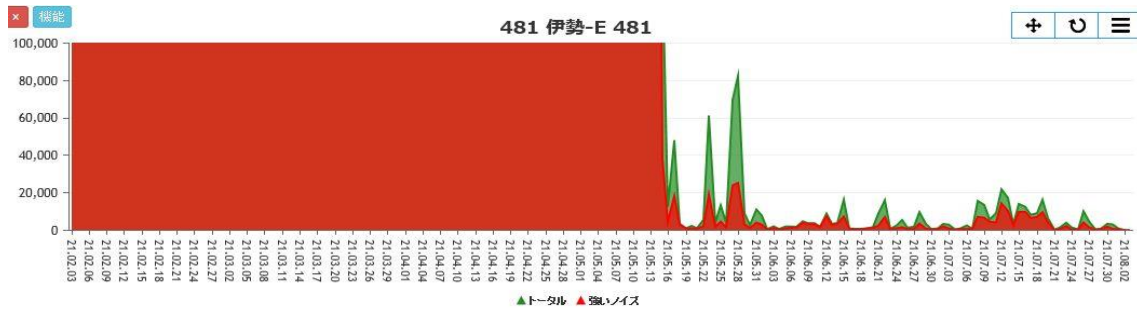




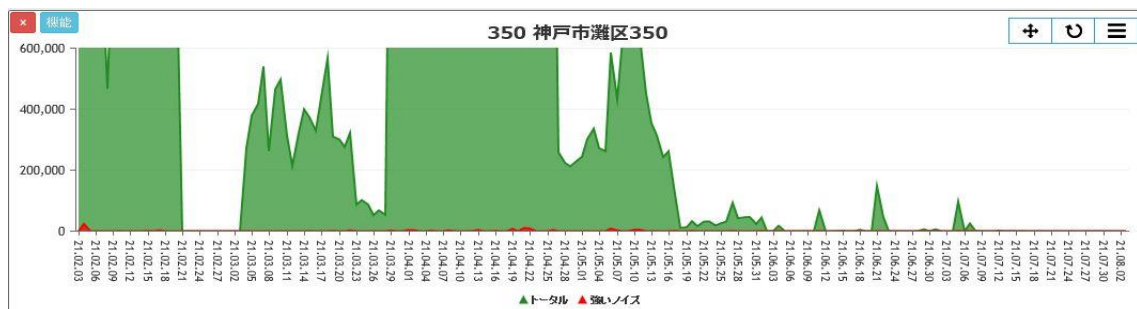
伊勢D484 180日(半年)間 日毎データ



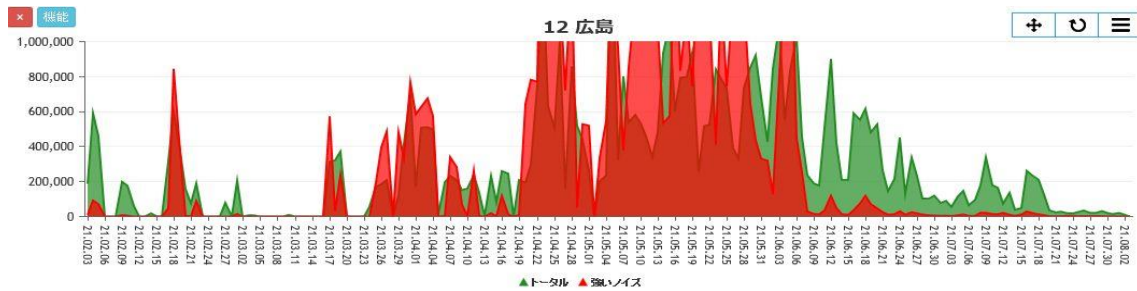
伊勢E481 180日(半年)間 日毎データ



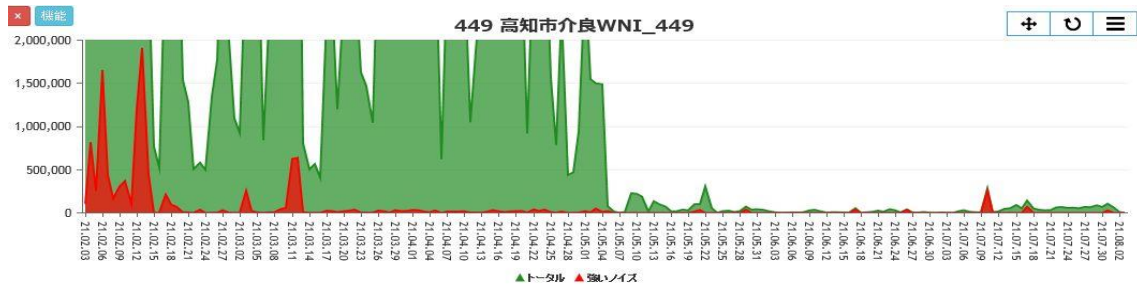
神戸市灘区 180日(半年)間 日毎データ



広島 180日(半年)間 日毎データ

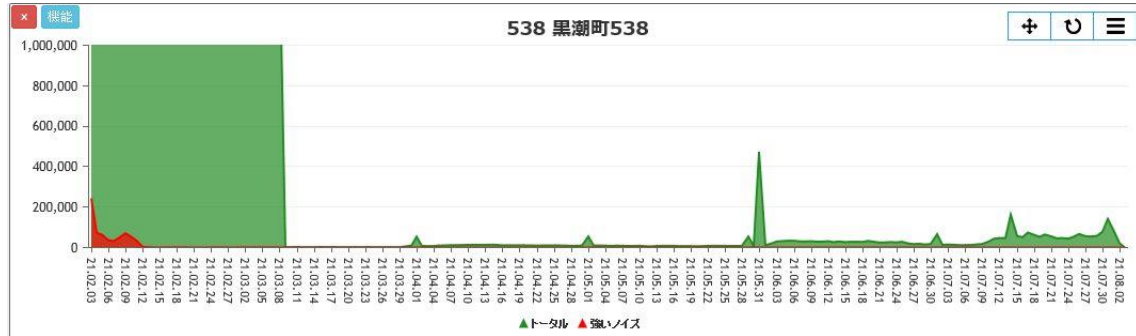


高知市介良 180日(半年)間 日毎データ

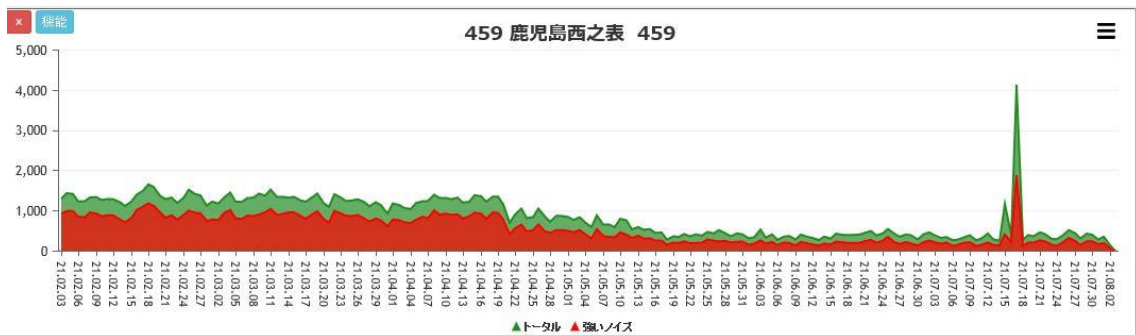


その他 参考>

高知県黒潮町 180日(半年)間 日毎データ



鹿児島県西の表 180日(半年)間 日毎データ



東京 八王子 180日(半年)間 日毎データ

